



第5期新川町政 まちづくりへの決意

”自然と歴史・文化を育む” —— 心と体の健康を求めた 『豊かな生活の場』 づくり

子どもは町の未来を担う宝です

三寒四温と春の気配のする今日この頃となりました。1月30日執行の築上町長選挙におきまして町民の皆様から改めて当選の栄誉をいただき、2月14日から新たな任期が始まりました。

決意新たに、安心・安全、利便性、教養・文化の充実と町民生活の向上に、職員と一丸となり負託に応えていく所存です。

5期目をむかえるにあたって

前任期中は、東京2020オリンピック聖火リレー決定、「町」では全国初の共生社会ホストタウンに登録、町税・水道

料金のコンビニ納付・スマホ決済開始、防災行政無線デジタル放送開始など様々な分野でまちづくりを進めてきました。

新たな任期では、引き続き新型コロナウイルス感染症対策としてワクチンの追加接種を速やかに実施し、皆様が1日も早く安心して生活を取り戻せるよう取り組んでいきます。また、第2次築上町総合計画の前期基本計画が、令和3年度末で計画期間の終期をむかえることから、これまでの前期基本計画の取組に対する検証を行うとともに、新たな地域の課題、社会経済の変化などを踏まえ、今後の5年間(令和4～8年度)を計画期間とする後期基本計画の策定作業を進めています。令和4年度からはこの後期基本計画に沿って施策に取り組み、持続可能なまちづくりを進めていきます。

第2次築上町総合計画の

6つの基本目標

1 笑顔あふれるふれあいのまちづくり

住民が自治会をはじめとするコミュニティを通して自主的、意欲的にまちづくりに参画でき、お互いを尊重し協働し合えるまちとしていきます。

2 やすらぎと安全・安心のまちづくり

町の豊かで美しい自然を守り、自然と共生しながら質の高い生活環境を兼ね備えた快適で安全・安心な暮らしを営めるまちとしていきます。

3 みんながいいきと暮らせるまちづくり

妊娠・出産・子育てから、生活習慣病予防、介護予防など、子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた健康課題・福祉課題への切れ目ない対応を図り、誰もが健やかで生きがいをもって暮らせるまちとしていきます。

4 こころ豊かに一人ひとりの誇りを育むまちづくり

地域固有の歴史や伝統・文化を継承し、地元への愛着をもちつつ、未来へはばたく国際感覚豊かで、生きる力を備えた子どもを育てるまちとしていきます。

5 活力とにぎわいのあるまちづくり

海、町、里、山の調和を図り、町の特色を生かした個性豊かな魅力あるまちとしていきます。

6 健全な行政経営を目指すまち

基本理念の達成に向けて行政と住民が力をあわせて進んでいけるように努めます。

*「第2次築上町総合計画」は、町のHPでご覧いただけます。総合計画の後期基本計画を3月末に策定予定です。



小中一貫教育基本方針

教育委員会では「築上町小中一貫教育基本方針」の中で、21世紀を担う持続可能な社会の創り手の育成を目指し、義務教育9年間を通して教育の推進を行うことを定めています。

その内容は、6・3制を基本にしながら、心身の発達段階・学習認識段階の「10歳の壁」及び「中1ギャップ」を克服するため、教育区分を4・3・2に分け9年間の教育課程を編成し、実施することとしています。

次に、小中連携を深化・発展させ、教員が



「ICT教育」と「国際交流活動」に活発に取り組むこととなっています。

また、学校運営協議会を基盤にして学校・地域・家庭が協力して諸課題の問題克服を図り、地域ぐるみの子育てと学校づくりに力を入れていくこととしています。

教育委員会の新しい時代における学びの取組「築上町小中一貫教育方針」に理解を示し、予算確保に邁進していきます。

町民の皆様のご期待に応えられるよう、職員と共に住みよいまちづくりを進めていきます。皆様には今後も町政にご協力いただきますようお願い申し上げます。

校種を超えて指導・支援を行うことにしています。さらに、「ICT教育」と「国際交流活



本庁で行われた当選証書授与式



2月14日、5期目として初登壇